

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)プレサンスロジェ八戸ノ里 新	階数	地上15F
建設地	東大阪市下小阪4丁目	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防	平均居住人員	167 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年9月 予定	評価の実施日	2019年12月21日
敷地面積	1,839 m ²	作成者	高田 実
建築面積	382 m ²	確認日	2019年12月24日
延床面積	4,148 m ²	確認者	戸谷 晴彦

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.3

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	住居として長く快適に生活できるよう生活環境の安心・安全・耐久性に配慮した。	その他 特に無し。
Q1 室内環境	快適な室内環境となるよう、音環境、空気質環境に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー	建築物の設備システムの効率化に配慮した。	LR3 敷地外環境 躯体の耐用年数の向上と設備システムの効率化によりLCO2に配慮した。
Q2 サービス性能	特になし	
LR2 資源・マテリアル	有害物質を含む材料の使用を回避するよう配慮した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0136

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)プレサンスロジェ八戸ノ里 新築工事						
		建設地	東大阪市下小阪4丁目						
		用途/区分	集合住宅						
【評価結果】		CASBEE 総合評価					B+		
①	CO2削減					4			
②	みどり・ヒート アイランド対策					3			
③	建物の断熱性					3			
④	エネルギー削減					3			
⑤	自然エネルギー直接利用					○			
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
エネルギー消費量の報告						対象外			
【評価項目】									
項目		評価内容				スコア	評価		
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				4.0	4		
②	みどり・ヒートアイランド対策								
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3		
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				4.0			
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0			
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				3.0	3		
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.1	3		
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	○		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	—		
その他									
		技術の名称			考慮事項				
先進的技術の導入									
特に配慮した事項									